

# 平成27年度活動報告書

## 目次

はじめに 平会長挨拶

### I 地域情報化の推進活動

- I・1 地元企業間連携(コラボ)による県事業の推進
- I・2 東長崎エコタウン
- I・3 長崎県ICT化推進連絡会議
- I・4 長崎県IT融合化推進協議会
- I・5 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアムの設置と会員参加
- I・6 ながさき ICT 戦略研究会の設立と会員参加
- I・7 長崎県工業連合会へ参加
- I・8 第6回国際スマートグリッド EXPO「長崎県ブース」への出展
- I・9 長崎市関連
- I・10 長崎県中小企業団体中央会関連

### II 交流事業

- II・1 海外との交流事業
- II・2 他団体・大学等との交流事業
- II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会
- II・4 通常総会・講演会・交流会
- II・5 我が社の一押し
- II・6 ビジネスコラボ事業
- II・7 IPA 第11回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」協会会長賞授与

### III 研修事業

- III・1 研修事業(長崎県後援)
- III・2 JISA 補助金による研修
- III・3 JAVA アプリケーション技術者養成研修を実施(受託事業)
- III・4 第2回「i(アイ)コンピデンシディクシヨナリ・ワークショップ(iCD-WS)」
- III・5 九経局 九州地域IT関連産業活性化人材養成等事業「クラウド化を先導する高度IT技術者養成事業人材育成研修事業」(H26年度 実施無)
- III・6 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

### IV 人材高度化能力開発事業(助成金受給支援事業)

### V 情報収集提供事業

### VI 講演・セミナー事業

### VII 理事会(役員会)

# 平成 27 年度活動報告書

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

## はじめに

平成27年度の我が国経済は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策の推進により、雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下等により交易条件が改善する中で、緩やかな回復基調が続きました。

長崎県内経済も個人消費や生産の持ち直し、雇用の緩やかな改善など、総じて持ち直しつつ推移してきました。平成27年度は長崎県総合計画の最終年度となり「人口減少対策」及び「県民所得向上対策」の充実強化、また、「しごとを創り、支える」、「まちを創り、支える」、「ひとを創り、支える」の3つの視点をもって重点的に取り組み、一定の成果がありました。

当協会活動におきましては、重点事業として取り組んでいる研修事業を、会員皆様の課題・ニーズをお聞きしながら計画を立て実施しました。実施にあたっては、厚労省の「キャリア形成促進助成金」を、会員皆様に積極的に紹介し、活用して頂きました。皆様方にはIT業界における重要な経営資源の柱として、人材育成の重要性をご認識され、熱心に受講して頂きました。会員企業様の多忙な業務と重なり目標の200名には達しませんでした。187名の方に受講して頂きました。さらに、JISA補助金による「地域高度IT技術者育成事業」として2講座28名を加え、合計215名の方に受講頂き、重ねて厚くお礼申し上げます。その他、昨年に引き続きIPAのITスキル標準を自社に取込む「(アイ)コンピテンシ ディクショナリ・ワークショップ」を開催し、会員3社が参加されました。「iCD活用企業認証制度」により、昨年参加3社を加え6社が「認証企業」に登録されました。これらの積極的な人材育成活動が、業績向上につながるものと期待しています。

次に、情報提供事業では、関係団体(ANIA、JISA)、他団体、大学、行政と連携しながら有益な情報をホームページやメールで皆様にお届けしました。

JISA補助金による「地域連携事業」活動として、平成24年度に立ち上げました「長崎県ICT化推進連絡会議」は、県内製造業企業様の経営のICT化推進のため、長崎県の「ITを活用した産業競争力強化支援事業」に積極的に参加し、県内の企業様の経営に役立つべく活動を行ってきました。次年度も引き続き活動を推進し、県内の企業様のお役に立てることを願っています。

また、2ヵ月毎に実施していますビジネスコラボ会には、協会役員のみならず一般会員の方々も参加され、お互いに親交を図り信頼感を醸成して、ビジネスの協業へ発展し成果を上げておられる例もあります。

さて、全国各地にはそれぞれ当協会のように地域情報産業の組織がありますが、その連合組織として全国地域情報産業団体連合会(ANIA)があり、当協会も加盟しております。ANIAでは毎年、全国大会を各地で開催し、今年は秋田開催となっています。そして“次の開催地は長崎”との要望が強く、長崎開催について役員会で検討しました結果、長崎は世界遺産登録もあり、注目されているこの機会に開催することとしました。この開催を通じてNISAの活動を地元の方々にとって頂く良い機会だと考えています。会員企業様が一致団結する機会にもなりますので、来年秋の開催に向けて準備を進めていきたいと思っております。

平成 27 年度に賜りました皆様のご支援・ご協力に改めて感謝しご挨拶と致します。

一般社団法人 長崎県情報産業協会  
会長 平 敏 孝

## I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けての取組みや施策への提案を行い、県事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

### I・1 地元企業間連携(コラボ)による県事業の推進

県内中小製造業の事業効率化に向けた「ITを活用した産業競争力強化支援事業」が設定され、中小企業向けシステムの開発、およびITを活用した高齢者生活支援などの支援事業に参画し推進する。

「ITを活用した産業競争力強化支援事業」（予定期間：H26年度～H28年度の3年間）

#### (1) 県内中小製造業の情報化支援

NISA組織の「長崎県ICT化推進連絡会議」が推進する「地域連携事業」の活動の一環として支援活動を行った。

1) 事業内容：H27年度はシンクタンク(富士通総研)による事業可能性調査が委託された。

地場企業のICT化に対する問題解決には、その課題を経営者とともに明らかにすること、また経営者の課題解決方針を引き出すことで、現場への対応をより明確にする。

i) ITを安価に実現するために必要、もしくは優先すべき項目を整理

ii) 事業展開ができ、共同利用できるシステム仕様の検討に対して、アドバイスを実施

2) 事業目的：中小製造業のIT化推進の一環として、県内標準の生産管理システムの開発・導入拡大により、県内情報関連事業の技術力向上や受注機会の拡大、および県内中小製造業の競争力向上を図る。これにより、中小製造業のIT導入における地産地消モデルの確立を目指す。

i) 製造業や自治体のIT導入における地産地消モデル確立

ii) 県内情報関連企業の技術の向上や受注機会の拡大

3) 参加企業：会員企業4社

4) 活動：本事業の推進として、長崎県ICT化推進連絡会議がJISAと進める「地域連携事業」の一環として、活動した。

当初の製造業向け共同利用システム仕様の検討を行った結果、その仕様をカバーする県内企業の開発済みである中小製造業向け生産管理システムを利用して、県内製造業にアプローチすることとした。

#### (2) 観光振興基盤整備支援

1) 事業内容：H27年度はシンクタンク(富士通総研)による事業可能性調査が委託された。

ITを活用した観光活性化を行う為、県・市町・情報関連企業・大学等で検討会を設置する。

i) 市町へのニーズ調査、および有識者によるテーマの検討、選定を実施

ii) システム構築のための方針決定、システムの仕様の検討

2) 事業目的：市町の観光における地域課題について、ITを活用し解決する。

i) 来訪前の認知度の向上

ii) 来訪中の満足度の向上

iii) 来訪後の地域とのつながりの維持およびリピート獲得

3) 参加企業：会員企業3社

4) 活動：本検討会の成果として、波佐見町中尾山をITモデル地区として選定し、観光活性化のIT活用を推進する。

「うつわ散策マップ」「中尾山ナビ」で中尾山を訪れた人の周遊をサポートする。

・うつわ散策マップ：窯元や史跡の情報を提供するとともに分かりやすくマップ上に配置し、ユーザーが目的地を簡単に巡れるようにする。

・中尾山ナビ：AR・Beacon等の技術を用い、現地で方向を示して目的地までの道のりを示したり、近くのポイントに関する情報を提供し、観光客の周遊サポートをする。

### I・2 東長崎エコタウン（敬称略）

#### (1) 東長崎エコタウン協議会

##### 1) 設立趣旨

長崎総合科学大学が持つ「環境エネルギーの創出、蓄電、制御技術」等の研究成果を積極的に社会貢献、地域貢献に生かす為、東長崎地区で行う「次世代エネルギーの地産地消」、「環境に優しく安全・安心なまちづくり」に関する調査・研究・実証試験の支援を目的とする。

これに賛同する関連企業、団体、地域自治会、大学、行政機関等、各界各層の英知を結集し、長崎県内はもとより、全国のモデル地域となり得るような先駆的取り組みを目指す。

## 2) 役員(会長、副会長)

会長	田中 義人	長崎総合科学大学 副学長 新技術創成研究所長
副会長	佐藤 康彦	システムファイブ(株) 代表取締役 (NISA 副会長)
	宮原 和明	(一社)おひさま Net ながさき 理事長

## 3) NISA 会員の参加

(株)NDKCOM、(株)MHPS コントロールシステムズ、扇精光ソリューションズ(株)、九州教具(株)、協和機電工業(株)、システムファイブ(株)、(株)ドウアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)ビーオルグ、富士通(株) 長崎支店、および協会として参加

## 4) 部会

- i) 東長崎地域資源活用部会(部会長:吉田博久、副会長:江藤春日)
- ii) 東長崎街づくり部会(部会長:宮原和明、副会長:佐藤康彦)

## (2) 活動

### 1) 地域資源活用部会

- i) 東長崎地区は風力、潮力、小水力、地熱等、再生エネルギーの宝庫であり、設備容量と再生エネルギー適用範囲の最適化が必要であり、検討課題である。
- ii) 電力販売自由化を迎え、電力地産地消型エネルギー供給の事業化可能性調査を実施。

### 2) 街づくり部会

- i) 講演会 H27/5/28(木)  
「再生エネルギーを使った地域発電事業について ～地域のエネルギーを地域活性化のために～」  
(一社)全国ご当地エネルギー協会 代表理事/(一社)徳島地域エネルギー 理事 豊田 和美
- ii) 現地視察 H27/5/27(水)  
松原地区メガソーラー発電施設
- iii) 地産地消の事業仕組みづくり支援に向けての地元地権者及び事業者エジソンパワー関係者と  
(一社)徳島エジソンパワー関係者との意見交換 H27/6/7(日)
- iv) 地産地消の事業仕組みづくりの検討結果と提案(一社)徳島地域エネルギーに関する意見交換  
(事業提案) H27/8/10(月)
- v) 地産地消事業の受け皿になる事業者の課題クワイヤー出来ず、地産地消の仕組みづくり断念  
H27/9/15(火)
- vi) 松原地区メガソーラー発電所は事業者エジソンパワーと地権者にて進んでいる。

## I・3 長崎県ICT化推進連絡会議:会長 平 敏孝

JISA 補助金による地域活性化事業のうち、「地域連携事業」の一環として、県・長崎工業会・NISA を中心として H24 年度に設立した。

この事業を通して、地域におけるベンダー・ユーザー・IT コーディネーター・行政機関等が連携する仕組みを構築し、地域IT化のためのプロデュース及びコーディネート機能強化を図り、地域自らが「自立自走」の精神でITの「地産地消」を実現する。

また、長崎県における中小企業の情報化推進が経営の改善に大きく役立つとの認識とともに、現状業務の効率化の達成が重要課題である。

### (1) 目的

ICT ユーザー・団体、ICT 企業・団体、官公庁、金融機関が一体となり交流し、変革を推進したことで各々の競争力を高め地場企業の発展に貢献する。

### (2) 活動

県内中小製造業の事業効率化に向けた ICT 化推進する。

「IT を活用した産業競争力強化支援事業」である県内中小製造業の情報化支援の中で、生産管理システム構築について NISA 会員企業が参加し活動を行った。《参照: I・1 (1)》

## I・4 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)(敬称略):会長 佐藤 康彦

長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)は長崎県内の産学官が一体となり、また、九州域内の関連団体・企業と連携し、県内における組込みソフト技術の向上とこれに関連する地域企業の振興を支援すべく、H22年6月に結成、活動を開始、下記のWG(ワーキンググループ)を結成。

### (1) 目的 県内企業での新事業への進出や事業拡大の支援を推進する。

- 1) 地元企業でのビジネスチャンス実現に向けた支援

- 2)企業による県等の補助金申請書作成への支援
- 3)関連情報の提供とパートナーの紹介
- 4)長崎県内／九州域内のネットワークを通じた支援

## (2) 関連団体

長崎県、長崎市、長崎総合科学大学、九州IT 融合化システム協議会(ES-Kyushu)  
一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA)、西九州組込み技術コミュニティ(NET-C)、  
東長崎エコタウン協議会(ENEC)

## (3) IT 融合化講演会 H27-11-5(木)、13:30～17:40、ベストウエスタンプレミアホテル長崎

- 1)基調講演：「IoT 時代に要求されるサイバーセキュリティと人材育成」  
講師：(独)情報処理推進機構 情報セキュリティ分析ラボラトリー長 小松 文子
- 2)セキュリティ関連講演 4 テーマ、およびパネルディスカッション  
《詳細は P.16、VI講演・セミナー事業(2)、4)を参照》
- 3)聴講者：88名(会員41名、非会員47名)

# I・5 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアムの設置と会員参加

## (1) 趣旨・目的

本県では高校・大学新卒者の県外流出が続いており、若年層人口の減少は産業を支える人材の不足、ベテランの技術・経験が伝承できないことなど、地域経済にも大きな影響を与えている。

国においては地方創生の動きの中で、地域の大学を活用した雇用創出・若者定着や、地域に貢献する人材育成等の施策が打ち出されているが、いずれも地域協議会の設置など、地域における産学官の連携体制の構築を条件としている。

優れた人材が県内産業を活性化させ、そのことが地域の企業を育て新たな雇用につながるという「しごと」と「ひと」の好循環を生み出すためには、産業界、学校及び行政の連携が不可欠であるが、人材の育成や若年者の定着を目的とした産学官の連携体制は無いのが現状である。

このため、産学官が緊密に連携し、産業人材の育成・確保や若年者の県内就職・定着化等について意見を交換し、情報を共有しながら「人材県長崎」の実現に向けて取り組んでいくことを目的に、産学官のコンソーシアムを設置する。

## (2) 役割

コンソーシアムは、次の事項について意見交換し情報の共有を図りつつ、具体的な個々の課題に対しては、業種や分野に応じたワーキンググループを組織し、有効な取組を検討し推進していく。

- i)企業が求める人材ニーズについて
- ii)企業ニーズに沿った効果的な人材育成策について
- iii)学校と産業界が連携した人材育成について
- iv)高校・大学新卒者の県内就職促進について
- v)その他、産業人材の育成・確保や若者の県内就職・定着化について必要な事項について

## (3) 構成

コンソーシアムのメンバーは、基本的に次の機関・団体等とするが、必要に応じ追加・変更できる。

- i)産業界：経済団体、業界団体、誘致企業、地場企業、金融機関、労働界
- ii)大学等
- iii)行政

## (4) 運営

- i)産業人材の育成、定着等に関する意見交換のためのコンソーシアム会議は年2 回程度の開催とし、メンバーは各機関・団体の実務責任者とする。
- ii)具体的な課題に対しては、それぞれの業種や分野に応じた実務者からなるワーキンググループにおいて随時、協議・検討する。
- iii)コンソーシアム会議の開催、運営等の事務は長崎県産業労働部雇用労働政策課で行うが、ワーキンググループについては、それぞれの協議・検討事項に応じて適切なメンバーが主導する。
- iv)コンソーシアム会議、ワーキンググループの打合せ等に関する旅費等は、各機関・団体等の負担とする。

## (5) NISA 参加会員

- i)グローバル人材育成に関するWG: ケービーソフトウェア(株)
- ii)プロフェッショナル人材事業WG: アイティースペース(株)、扇精光ソリューションズ(株)、システムファイブ(株)

# I・6 ながさき ICT 戦略研究会の設立と会員参加

## (1) 趣旨・目的

ICT(情報通信技術)を利活用した施策などについて、産学金官等が連携して協議・研究するプラットフォーム

ームを構築することにより、オープンデータや官民協働クラウド、県のソフトウェアライセンス活用を含めた情報通信サービスの活性化を図ることを目的に、「ながさきICT戦略研究会」(以下「研究会」という)を設立する。

#### (2) 役割

研究会は、次の事項について意見交換し情報の共有を図りつつ、個々のテーマに応じたワーキンググループを組織し、有効な取組を検討し推進していく。

・官民協働クラウドの構築・運営、オープンデータ利活用、県システムライセンス活用、共同企業体による事業実施の可能性 他

#### (3) 構成

研究会のメンバーは、基本的に次の機関・団体等とするが、必要に応じ追加・変更できるものとする。テーマに関係するオブザーバーも参画できるものとする。

・情報通信関連産業、金融機関、研究機関、大学、行政等

#### (4) 運営

i) 研究会会議は年2回程度の開催とし、メンバーは各機関・団体の実務責任者とする。

ii) 具体的なテーマに対しては、それぞれの業種や分野に応じた実務者からなるワーキンググループにおいて随時、協議・研究する。

iii) 研究会会議の開催、運営等の事務は長崎県総務部情報政策課で行い、ワーキンググループについては、それぞれのテーマに応じて適切なメンバーが主導する。

iv) 研究会会議、ワーキンググループの打合せ等に関する旅費等は各機関・団体等の負担とする。

#### (5) NISA 参加会員

正会員：(株)イシマル、エコー電子工業(株)、(株)NDKCOM、NBC 情報システム、扇精光ソリューションズ(株)、オフィスメーション(株)、十八ソフトウェア(株)、(株)ドゥアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、

(株)日本ビジネスソフト、不動技研工業(株)、(有)ランカードコム

特別賛助会員：(株)十八銀行、(株)親和銀行

なお、NISA はオブザーバー参加

## I・7 長崎県工業連合会へ参加

#### (1) 設立の趣旨

県内の製造業及び関連企業が地域や業種・業態の枠を越えて相互に交流、研鑽を深め、経営基盤の強化とともに技術高度化や新分野進出などに意欲的に取り組むことにより、参加企業の事業拡大や企業間取引の拡大を目指すため、製造業及び関連企業を営む事業者及びその団体、ならびに趣旨に賛同する関係団体からなる「長崎県工業連合会」を設立する。

#### (2) 目的

県内企業の相互交流・研さんを深め、個別企業の競争力の強化を図るとともに、県下全域での交流・連携を通じて、本件製造業の振興を図ることを目的とする。

#### (3) 事業内容

- 1) 県内企業の経営力・技術力の向上に関する事業
- 2) 県内企業の連携促進に関する事業
- 3) 情報の収集及び提供、行政等への施策提言並びに調査研究に関する事業
- 4) 本会の目的を達成するために必要な事業

#### (4) NISA 参加会員

長崎工業会、佐世保工業会、諫早工業会に NISA18 会員が参加。

なお、NISA は、支援会員として参加。

## I・8 第6回国際スマートグリッド EXPO「長崎県ブース」への出展

((公財)長崎県産業振興財団)

国内外のスマートグリッド/スマートコミュニティの構築に必要なあらゆる製品・技術が一同に出展

H28-3-2(水)~4(金) 3日間、会場:東京ビッグサイト (東京都江東区有明 3-11-1)

参加会員企業: システムファイブ(株) 1社

## I・9 長崎市関連

#### (1) 第3次長崎市経済成長戦略

1) 担当部署: 長崎市経済局商工部 産業雇用政策課

2) 概要: 「長崎市経済成長戦略」は、地域の経済成長を促す方向性を示すものである。

この成長戦略は、「経済交流と域内経済循環による経済成長の実現」を成長の方向性に掲げて

いる。まず、平成20年3月に、第一次となる「長崎市経済成長戦略」(対象期間:平成20年度から平成22年度)を策定した。

「第二次長崎市経済成長戦略」(対象期間:平成23年度から平成25年度)では、第一次成長戦略で示した方向性を基礎としたうえで、長崎に固有でよそには真似ができない能力や強みである「船」、「食」、「観(光)」に着目し、これらを柱に据えた取組みによる経済成長の方向性を示した。

この流れに基礎を置いて、次なる経済成長の方向性を示すために、第三次となる経済成長戦略を策定した。ここでは、長崎固有の「船」「食」「観」をより効果的に活用する取組みや仕掛けによって、地域としての競争力を向上させ、長崎からの顧客価値を発信し、未開拓の分野への進出も図ることで経済交流の機会獲得・販路拡大へとつなげ、外貨獲得や誘客を強化し、地域経済の振興を図る方向性を示す。

## I・10 長崎県中小企業団体中央会関連

### (1)「平成26年度補正/中小企業・小規模事業者/ものづくり・商業・サービス革新事業」

1) 事業概要:国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援

2) 公募期間と採択数

	期 間	長崎県採択数	NISA 会員採択数
i) 1次公募:	H27/2/13~5/8)	56	4
ii) 2次公募:	H27/6/25~8/5)	61	2

3) 採択 NISA 会員

地域採択審査委員会および全国採択審査委員会において厳正な審査が行われた結果、NISA 会員企業は下記 6 社であった。(中央会公表順)

i) システムファイブ(株)

・ITを活用した高齢者向け双方向見守りサービス

ii) (株)PAL構造

・マルチフィジックス解析を用いた海洋エネルギー機器の設計・開発サービスの提供

iii) 大新技研(株)

・設計・解析向けの業務ファイル総合管理システムの開発

iv) 協和機電工業(株)

・レアアースレスでメンテナンスフリーな再生可能エネルギー向け発電機の開発

・3次元計測器を利用した大型鋼構造物の高精度モノづくり革新

v) (株)NDKCOM

・展示会来場者情報管理システムの商品化による新情報サービス事業の実現

### (2) 中小企業景況調査

1) 平成27年度 第1四半期 (H27年04~06月期)	調査期間	5/25~6/3
2) 平成27年度 第2四半期 (H27年07~09月期)	調査期間	8/21~9/2
3) 平成27年度 第3四半期 (H27年10~12月期)	調査期間	11/6~11/13
4) 平成27年度 第4四半期 (H28年01~03月期)	調査期間	2/8~3/1

## II 交 流 事 業

### II・1 海外との交流事業

#### (1) シンガポール企業視察(敬称略)

1) 目的

IT業界は東アジア圏を中心にグローバル化が進んでいく。そのような中で、ここ数年日本からシンガポールに移住するIT企業家が増加している。また、私たちの地域のIT企業にとっても、グローバルな視点を養っていかなければ生き残っていけない時代になってきた。

今回、現役の新進気鋭のシンガポール在住IT企業家の方々の動向や考え方に触れ、その刺激を持ち帰ることによって企業のグローバル化に関するモチベーションを高める。

2) 視察旅行先と日程

・シンガポール

・2/21(日)~2/24(水) (2泊4日)

3) 視察先と日程

i) ジェトロ・シンガポール

・日時:2/23(月) 10:00~11:30

・場所:ジェトロ・シンガポール事務所 会議室 (Tel:6221-8174)

・JETRO

「シンガポール概況と日系企業の進出動向について」 Duputy Managing Director 小島 英太郎

「世界初のスマート・ネーションを目指して」 Analyst Economic Information(Research) 本田 智津江

ii) (株)ブイキューブ

・日時:2/23(月)、13:30～ 15:00

・場所:TKP Conference Centre Cecil Street 3F OSAKA(貸会議室)

「(株)ブイキューブグループ 紹介・海外展開について」 代表取締役社長 CEO 間下 直晃

4)参加

全会員への募集案内をした結果、参加 14 名(会員、事務局、同行 3 名)

## II・2 他団体・大学等との交流事業(敬称略)

(1)ANIA 通常総会と関連行事(敬称略) H27-6-17(水) 平会長 出席、事務局長オブザーバー出席  
場所:京王プラザホテル 43F「コメット」(新宿区西新宿 2-2-1)

・正会員数 21 会員。出席 16 会員、委任状提出 5 会員。

1)通常総会 14:00～14:45

議案 i)平成 26 年度事業報告および平成 26 年度収支決算報告

ii)平成 27 年度事業計画および平成 27 年度収支予算

iii)理事・監事の選任について

◆講演会と懇親会は日本ソフトウェア産業協会(NSA)の創立 30 周年に合流

2)講演会 H27-6-17(水)15:30～17:00

i)演題『情報化社会の未来』 講師 ジャーナリスト/東京工業大学教授 池上 彰

3)懇親会 H27-6-17(水) 17:30～19:30

(2)第 37 回 全情連大会「ANIA いしかわ大会」への参加(敬称略)

一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会(略称:ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催し、平成 27 年は、「いしかわ(金沢)」で開催された。

NISA 出席者:4 名(平会長、須藤理事、梁瀬理事、事務局長)

開催:平成 27-9-10(木)～11(金)、ANA クラウンプラザホテル金沢「鳳の間」

次回開催:H28 年度 ANIA 全国大会は秋田県で開催することを、大会で発表された。

1) ANIA 大会式典 H27-9-10(木) 13:30～14:30

ANIA いしかわ大会、石川県情報システム工業会 30 周年記念式典

i)開催挨拶 (一社)石川県情報システム工業会 会長 饗庭 達也

ii)主催者挨拶 (一社)全国地域情報産業団体連合会 会長 長谷川 亘

iii)来賓挨拶

・石川県 知事 谷本 正憲

・経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長 小池 雅行

・総務省 情報流通行政局 地域情報化推進室長 梅村 研

iv)表彰

優秀役員として、NISA 前事務局長 岩永 俊之、ほか 4 名の表彰があった。

2)記念講演「Twitter Japan のビジネス戦略について」

Twitter Japan(株) 代表取締役 笹本 裕

3) リレートーク「どうする!情報システム産業における人材確保」

一求められる企業になるためには、求める人材になるためには一

[モデレータ] (株)クオリティ・オブ・ライフ 代表 原 正紀

[スピーカー] 北陸先端科学技術大学院大学 副学長 松澤 照男

金沢大学 学生部就職支援室 山本 均

石川県情報システム工業会 会長 饗庭 達也(三谷産業(株) 代表取締役社長)

4)懇親会 (18:00～19:30)

i)開会宣言

ii)開宴挨拶

iii)来賓の挨拶

iv)鏡割り 来賓および主催者

v)次回大会の紹介

vi)中締め宣言

(3)ANIA 新春交流会(東京サテライト展示交流会)(敬称略)

H28-2-4(木) 18:00～19:30 東海大学校友会館「富士の間」、霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35 階



- Nisa5 名出席:須藤交流委員長、東京に本社又は支店・営業所を持つ会員 3 名
- ・副会長代理 不動技研工業(株)常務取締役事業本部長 原田 学
  - ・(株)ビーオルグ 代表取締役社長 福田 勝彦
  - ・(株)相武システム 代表取締役社長 和田 雅資
  - ・事務局長
- ・東京サテライト展示交流会への出展:無

#### (4)ANIA 理事会

- 1) **第1回理事会** H27-5-29(金) 15:00~17:00 八重洲倶楽部 (東京駅八重洲地下街)  
平会長 出席、出席理事 7 名(理事数 10 名)  
i) 入会承認(一社・島根県情報産業協会、(株)ソフテック:高知県、(株)コヤマ・システム:香川県)について、ii) 平成 26 年度事業報告について、iii) 平成 27 年度事業計画について、iv) IT 連合会について、v) 報告事項・その他(理事監事選考・いしかわ大会・総会他について)
- 2) **第2回理事会** H27-6-17(木) 14:45~15:00 京王プラザホテル コメット (新宿区西新宿 2-2-1)  
平会長 出席、事務局長オブザーバー出席。出席理事 8 名(理事数 10 名)  
i) 正副会長互選について ii) その他 (一社・全国地域情報化推進協会 APPLIC 理事について)
- 3) **第3回理事会** H27-9-10(木) 11:10~12:30 ガーデンホテル金沢 華の間(金沢市本町 2 丁目 16-16)  
平会長 出席、事務局長オブザーバー出席。出席理事 9 名(理事数 10 名)  
i) 日本 IT 団体連盟(仮称)設立について ii) 報告事項・その他(いしかわ大会、新春交歓会、来年の全国大会について)
- 4) **第4回理事会** H27-12-10(木) 13:00~15:00 八重洲倶楽部 東京駅八重洲地下街  
欠席。出席理事 6 名(理事数 10 名)  
i) 相互入会、正会員入会について(特定非営利活動日本情報技術取引所(JIET)から特別会員としての入会、愛媛県情報サービス産業協議会)、ii) 新春交歓会、iii) 平成 28 年度定期総会について(神奈川県情報サービス産業協会の 30 周年記念イベントに合流)、iv) 報告事項・その他(OB 会、H29 全国大会について・・・理事会として長崎県に依頼、アジア中小企業協議会との MOU、次世代農業グリーンフォーラム、スマートエキスポ、日本 IT 団体連盟について)
- 5) **第5回理事会** H28-2-4(木) 16:00~17:30 東海大学校友会館「霞の間」  
(千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35 階)  
事務局長オブザーバー出席。出席理事 8 名(理事数 10 名)  
i) IT 団体連盟について、ii) アジア中小企業協議会との MOU について、iii) 報告事項・その他(合同就職説明会の実施、平成 28 年度定期総会、全国大会:H29 は長崎県、部会活動報告について、経費・予算執行状況報告、新春交歓会事務連絡、次回日程について)

#### (5)ANIA 事務局長連絡会議 (敬称略) 事務局長 出席

- 1) **第1回事務局長連絡会議** H27-6-18(木) 10:00~12:00 八重洲倶楽部 第 2 会議室 東京駅地下街  
i) 各県協会の状況報告と質疑応答
- 2) **第2回事務局長連絡会議** H27-9-10(木) 10:00~11:00 ガーデンホテル金沢 華の間  
(金沢市本町 2 丁目 16-16)  
i) いしかわ大会事務連絡事項、ii) 連絡事項(会員企業向け社員教育について(エンベックス社)、ISO27001 団体認証プログラムについて(日本情報振興協同組会))、iii) 各協会の状況報告と質疑応答
- 3) **第3回事務局長連絡会議** H28-2-5(金) 10:00~12:00 八重洲倶楽部 第 7 会議室 東京駅地下街  
i) 各協会の状況報告と質疑応答、ii) 海外視察について、iii) IT 連の滑動について

#### 4)関連する省庁、団体、施策等

- i) 総務省地方情報化推進室
- ii) 全国地域情報化推進協会  
ANIA H27 年度 第 1 回研究部会 勉強会と意見交換会(事務局長出席)  
日時:H27-10-15(水)、14:00~17:00  
会場:八重洲倶楽部 6 会議室  
説明:  
a) H28 年度総務省「ICT 関連重点政策」、「ICT による地方創生の成功事例」  
総務省 情報通信行政局 地域通信振興課長 山崎 良志  
b) 能力開発施策全般とキャリア形成促進助成金の制度について  
厚生労働省 商業能力開発局 キャリア形成支援課長 伊藤 正史

#### (6)JISA 九州・沖縄支部会(敬称略) H28-1-19(火) 14:00~18:30 平会長出席 天神スカイホール(西日本新聞会館 16F)(福岡市中央区天神 1-4-1 西日本新聞会館 16F)

- 1)開会 主催者挨拶
- 2)来賓挨拶
- 3)議事
  - i)経済産業省の情報政策について
  - ii)JISA 報告
- 4)講演 講演:「自分への挑戦」  
講師 浦田 理恵(熊本県生まれ、福岡在住)、ゴールボール選手(全日本女子主将)
- 5)情報交換会 17:00~18:30

## II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会 (敬称略)

県工技セの研究成果の説明を伺い、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

- (1)日 時:H27-12-17(木)16:00~17:30
- (2)場 所:出島交流会館 9階 展示交流室(長崎市出島町 2-11)
- (3)次 第
  - 1)挨拶 NISA 会長 平 敏孝/工業技術センター 所 長 馬場 恒明
  - 2)工業技術センターの概要説明 工業技術センター 所 長 馬場 恒明
  - 3)おもな新規導入設備の紹介
    - ・振動試験装置
    - ・電気ノイズ安全評価装置
    - ・EMI計測システム
    - ・高精細三次元造形装置
    - ・連成解析システム
  - 4)電子情報関係(組込み技術等)の開発事例紹介
    - ・工具交換時期を予測監視
    - ・省エネと省スペースに対応する電力変換装置の開発
    - ・電気・電子機器のノイズ対策技法の確立
    - ・センサネットワークとビッグデータ解析を用いた応用技術開発
    - ・連成統合シミュレーション技術の開発と普及支援
  - 5)意見交換

## II・4 通常総会・臨時総会・講演会・交流会 (敬称略)

- (1)第 22 回通常総会 H27-6-25(木) 13:45~14:45 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」
  - 1)出席会員数 正会員出席 34 名、委任状 26 名、合計 60 名(総正会員 64 社)
  - 2)議 題
    - i)第 1 号議案 議事録署名人の選任の件
    - ii)第 2 号議案 平成 26 年度 活動報告並びに決算・監査報告 承認の件
    - iii)第 3 号議案 理事の選任の件
    - iv)第 4 号議案 その他の案件
  - 3)報 告
    - i)第 1 号報告 平成 27 年度事業計画
    - ii)第 2 号報告 平成 27 年度収支予算書(正味財産ベース)
    - iii)第 3 号報告 公益目的支出計画実施報告
- (2)第 22 回通常総会 講演会 H27-6-25(木) 16:30~17:40 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」
  - 1)演題 :「次世代 Web アプリケーション開発技術」  
《詳細は P.15、VI講演・セミナー事業(2)・1)を参照》
  - 2)講師:長崎大学教授 大学院工学研究科 電気・情報科学部門 博士(工学) 小林 透
  - 3)聴講者 :69 名(会員 61 名、非会員 8 名)
- (3)新年度 会員交流会 H27-6-25(木) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 2F「妙見」  
参加者:68 名(会員 60 名+来賓 8 名)
- (4)新春講演会 H28-1-21(木) 16:30~17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」
  - 1)演題 :「IoT の現況と今後の活用に向けた期待・効果」  
《詳細は P.15、VI講演・セミナー事業(2)・2)を参照》
  - 2)講師 :日本ユニシス(株) 総合マーケティング部 IoTサービス戦略企画室  
IoT 技術グループ グループリーダー 松村 義昭

3)聴講者 :97名(会員77名、非会員20名)

(5)新春産学官交流会 H28-1-21(木) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 3F「妙見」  
参加者:総数 94名(会員63名+来賓31名)

## II・5 我が社の一押し (敬称略)

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2回/年開催した。

(1)6月:通常総会時 :H27-6-25(木)

1)「iCD (i コンピテンシディクショナリ) の概要とその活用について」

(独)情報処理推進機構(IPA) IT人材育成本部 HRD イニシアティブセンター 調査役 遠藤 修

2)「iCD の導入事例紹介」

①(株)NDKCOM 発表者 尾崎 茂雄

②不動技研工業(株) 発表者 土田 修

③オフィスメーション(株) 発表者 石井 新吾

(2)1月:新春産学官交流会開催時 :H28-1-21(木)

1)(有)ランカードコム「クラウドCTIとその活用について」

発表者 代表取締役 峰松 浩樹

2)(株)日本ビジネスソフト「透析施設向けタブレット型システム『i-Shunt(アイシャント)』」

発表者 ITサービス事業部 課長代理 小田 秀樹

## II・6 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

(1)第25回 H27-4-23(木) 18:30~20:00 《新和風九州料理 かこみ庵》

(2)第26回 H27-8-20(木) 18:00~20:00 《VARIO(バリオ)》

(3)第27回 H27-10-22(木) 18:00~20:00 《和華菜 DINING Clat》

(4)第28回 H27-12-17(木) 18:00~20:00 《萬亭》

## II・7 IPA 第11回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」協会会長賞授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2015年度も11回目のコンクールが独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)主催で実施され、昨年同様に後援し、地域賞(NISA 会長賞)を設定した。

『第11回 IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2015』の地域賞(NISA 会長賞)の入選作品を選定し表彰状と副賞を贈呈。

【標語部門】 松尾 笑香 さん 長崎県立清峰高等学校 1年

【ポスター部門】 山中 真梨奈さん 長崎市立三重中学校 1年

【4コマ漫画部門】 有吉 碧南 さん 五島市立福江中学校 1年

## III 研修事業

### III・1 研修事業(長崎県後援)

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者の研修ができなくなり、長崎県産業労働部のご支援により、平成20年度に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

平成27年度は、皆様からのアンケート結果を反映し24講座と代替1講座を設定したが、代替を含め5講座は申込みが3名以下であった為中止し、実施は20講座であった。受講者は、業務多忙により目標であった200人を下回り187人となり13名減となった。

受講された企業の皆様に厚く感謝を申し上げます。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤研修技術委員長を中心に、峰松副研修技術委員長の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、成功裏に終了することができた。

研修計画から運営まで、ご協力頂いたFSC、FJQS、AESにも感謝申し上げます。

	講座名	開講日	日数	受講者数
技 術 系	ネットワークとセキュリティの基礎	5/13・14・15	3	11
	開発者のための必須のネットワーク・サーバ技術	6/10・11・12	3	11
	Javaによるオブジェクト指向プログラミング(基礎編)	7/1・2・3	3	4
	VBによるオブジェクト指向プログラミング開発(基礎編)	7/29・30・31	3	10
	JavaによるWebアプリケーション開発(実践編)	8/5・6・7	3	6
	VBによるWebアプリケーション開発(実践編)	8/26・27・28	3	6
	Webシステムのアーキテクト育成	9/2・3・4	3	6
	ビッグデータ処理基盤を活用したアプリケーション開発	9/16・17・18	3	4
	パフォーマンスを上げるSQLチューニング	10/21・22・23	3	13
	ネットワークトラブルの原因分析技術	10/21・22・23	3	19
	クラウドサービスコーディネータ育成と仮想化技術	11/25・26・27	3	11
	サイバー攻撃におけるインシデント対応	12/2・3・4	3	16
	IT技術者必須のサーバ技術	1/13・14・15	3	10
	ヒ ュ ー マ ン 系	リーダーシップ力養成研修	6/3・4・5	3
現場力養成！若手社員の仕事術 「コミュニケーション力と論理思考力を使った問題解決力」		6/17・18・19	3	11
業務分析設計概説 「システム開発における要件定義のまとめ方」		7/7・8・9	3	10
心理学に基づいたプロジェクトメンバーの管理・育成法		7/15・16・17	3	17
ソフトウェア開発リーダーのためのコーチングスキル		9/2・3・4	3	4
プロジェクトマネージャ育成のためのプロジェクトの実行マネジメント		9/30・10/1・2	3	5
アジャイル開発の実践演習		10/28・29・30	3	5
	合 計		60日	187名

### Ⅲ・2 JISA 補助金による研修（「講演セミナー事業」）（敬称略）

JISA からの補助金「地域高度 IT 技術者育成」で下記を計画し、実施した。

#### (1) プログラム開発におけるレビュー・テスト技術の基礎

日時：H26-12-10(水)・11(木)

講師：(株)富士通九州システムズ 谷川 直仁

会場：石井税理士事務所 会議室

受講者数：16名

#### (2) IT ソリューション SE のための対人対応力ビジネスコミュニケーション

日時：H27-1-27(水)・28(木)

講師：(株)福岡ソフトウェアセンター(FSC)、矢田 治郎

会場：一般社団法人 長崎県情報産業協会 研修室

受講者数：12名

### Ⅲ・3 JAVA アプリケーション技術者養成研修を実施（「受託事業」）

H26-4-7(火)～6-5(金) (38日間) Nisa 研修室 受講者 7名

「助成金を活用した技術者研修で業界No.1」のエンベックス社とのタイアップにより、「キャリア形成促進助成金(認定実習併用職業訓練コース)」を適用して、H27年度の新入社員研修をNISA研修室で4月7日～6月5日(38日間)まで実施した。厚労省のキャリア家お正促進助成金制度の活用により、本研修は企業負担がほぼ無く実施できた。

### Ⅲ・4 第2回「i(アイ)コンピデンシ ディクショナリ・ワークショップ(iCD-WS)」 (中小企業向け IT スキル標準)実施（「受託事業」）

「iコンピデンシ ディクショナリ」は、従来からのビジネスモデルをはじめ、セキュリティやクラウド、データサイエンスなど新時代のビジネスモデルに求められるタスクやスキル、役割分担例、職種を

H27年度に新たに追加し、スキル標準・情報処理技術者試験に加えて、ITILやPMBOKなどIT関連の15のプロセス体系、知識体系(BOK)との参照性を確保している。そのため、各企業・組織は、より容易に目的に即したタスクモデル・スキルモデルを作成することができる。

昨年度に引き続き、九州経済産業局・IPA(独立行政法人情報処理推進機構)および特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会の後援、およびFISA(一般社団法人福岡情報サービス産業協会)協力の下、「第2回 iCD ワークショップ」を長崎で開催した。

参加会員: (株)イシマル、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株)

- (1)キックオフミーティング H27-9-28(月) 15:00~18:00 出島交流会館
- (2)第1回 H27-10-16(金) 13:30~19:30 出島交流会館 「自社要件定義を実施」
- (3)第2回 H27-10-17(土) 9:00~12:00 出島交流会館 「自社タスク定義を実施」
- (4)第3回 H27-10-29(木) 13:30~17:30 出島交流会館 「役割レベル、役割概要の設定」
- (5)第4回 H27-11-12(木) 13:30~17:30 出島交流会館 「タスクレコーディングとレベル条件設定」
- (6)第5回 H27-11-26(木) 13:30~17:00 出島交流会館 「パイロットレコーディング検討」
- (7)第6回 H27-12-18(木) 13:30~17:00 出島交流会館 「パイロットレコーディング評価」
- (8)テイクオフミーティング H28-1-22(金) 参加各企業訪問(各 1.5 時間)

### Ⅲ・5 九経局 九州地域IT関連産業活性化人材養成等事業「クラウド化を先導する高度 IT 技術者養成事業人材育成研修事業」(H27 年度実施無)

### Ⅲ・6 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加(敬称略)

#### (1) 研修

##### 1) シーボルトテクノ塾(2月、3月開催)

i) 目的 最新情報メディアテクノロジーの習得

ii) コース・開催日

①AR for Android H28-2-27(土)

②ActionScript 3.0 H28-3-6(日)

③スクラッチ講座 初級編 H28-3-19(土)

iii) 講師 長崎県立大学情報メディア学科教授 辺見 一男

iv) 場所 長崎県立大学シーボルト、情報処理演習室 W203 (西棟 2 階)

v) 受講料 無料

vi) 定員 各コース 10~20 名

### Ⅳ 人材高度化能力開発事業(「助成金受給支援事業」)

H16 年度からキャリア形成促進事業を始め、H23 年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)、また H25 年度には日本再生人材育成支援事業(奨励金)を実施したが、成長分野・日本再生(奨励金)制度は H25 年度に終了した。H26 年度から制度内容を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。NISA 研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪であり、H27 年度研修の認定申請手続きを積極的に推奨し申請の支援をした。

事務費:「キャリア助成金 10%、ただし、認定実習併用コースは 1%」として実施。

#### ※キャリア形成促進助成金

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取組んでおられることに敬意を表すとともに、NISA 事務局もご支援のため、次のことを続けている。

なお、キャリア形成促進助成金は、H27-10-1 に制度の大幅な改定があり、成長分野等はキャリア形成促進助成金制度の「政策課題対応型訓練」に組込まれた。

H27 年度は下記を実施。

#### (1) キャリア形成促進助成金

##### 1) 助成金申請書様式へ計算式の追加搭載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では、実施計画申請様式に NISA 研修内容、支給申請では支給額計算式を搭載してわかりやすくまとめ、また作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

##### 2) 訓練実施計画届書のチェック支援(H27-3~)

i) キャリア形成促進助成金は、初回申請は研修を実施前であれば訓練開始の 1 カ月前まで、以降新規に研修受講の際は、訓練開始前までに「変更届」を提出が必要である。

- ii) H23 年度から提出先が労働局へと変更に伴い、申請は「訓練計画実施届」となり認定ではない。
  - iii) 保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。
  - iv) 研修実施場所は当初は決定せず、受講者数・インターネット接続等研修内容により決定する。このため決定次第、受講企業から研修場所を変更届としての提出が必要であったが、キャリア助成金申請の委任状を事務局に提出いただき、研修毎に事務局で纏め長崎労働局へ提出し、受講企業の負担軽減と漏れの防止を図っている。
  - v) 「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を、23 社に対し実施した。(H27-3 月から順次)
- 3) 支給申請書のチェック支援(確定支給額の 10%、認定実習併用コースは1%:事務費)
- i) H26 年度より支給申請は「各訓練終了日の翌月から 2 か月以内」に申請書の提出が必須となった。
  - ii) 賃金および経費助成の支給額計算式を入れた申請様式を Nisa で作成し、認定企業に送付し、申請業務の合理化を図った。
  - iii) 共同チェックについては、年間と通して「各研修の終了から 2 か月以内」に実施した。  
支給申請共同チェックは、研修が終了次第順次実施し、申請数は延べ 82 件であった。

(2) 留意点のメールによる配信と電話相談

## V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進している。

これらの実現のためには、ICT 化に関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組みの情報を逸早く収集し広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報を HP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域の ICT 化の取り組みや施策の提案等を行う。

(1) 提供項目:	1) 研修・講座	20 件	
	2) セミナー・シンポジウム	25 件	
	3) 報告会・講演会	26 件	
	4) 展示会	4 件	
	5) 政府および自治体からの通知等	22 件	
	6) 試験・コンテスト募集、その他	7 件	
	7) 関連団体(JISA・ANIA)情報	97 件	計 226 件

(2) 他団体情報

情報源として、上部団体である一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、経済産業局、長崎県・市、長崎県産業振興財団からの情報をメールで配信。

- 1) ANIA (全国地域情報産業団体連合会 会員速報)
  - 2) JISA メール
  - 3) 九州経済局からの情報
- 以上は、東京での開催が多いが、中央での動向を掴む意味で配信した。
- 4) 会員情報 など

(3) 主情報

長崎県工業技術センター		
1	ものづくり試作加工支援センター講演会	H27-7-23(木) 14:00~16:40
2	第7回長崎県産学官テクノフォーラム	H28-2-12(金) 14:00~17:30
3	電気ノイズ安全評価装置に関する普及セミナー	H27-9-11(金) 13:30~16:00
4	電気ノイズ安全評価装置に関する普及セミナー	H27-12-15(火) 13:30~16:00
5	パワーエレクトロニクス技術研究会	H27-5-21(木) 13:00~17:45
6	パワーエレクトロニクス技術セミナー	H27-7-14(火) 14:00~15:30
7	パワーエレクトロニクスに関連する電子計測基礎セミナー	H27-7-22(水) 13:30~16:00
8	パワーエレクトロニクスに関連する電子計測基礎セミナー	H27-10-28(水) 13:30~16:45
9	自動制御技術研究会[クラウド技術]	H27-8-21(金) 13:00~15:15
10	IoTに関する自動制御技術研究会([クラウド技術])	H28-2-22(火) 14:30~17:00
11	第18回先端技術導入促進セミナー	H27-8-6(木) 14:00~17:35
12	第19回先端技術導入促進セミナー	H27-10-22(木) 14:00~17:35
13	平成27年度長崎県知的財産セミナー	H27-7-28(火) 13:30~16:45
14	精密加工技術セミナー	H27-7-8(水) 13:30~15:30
15	実装技術セミナー「プリント基板実装」	H27-7-30(木) 13:30~15:50
16	3次元CAD/CAE技術セミナー	H27-7-31(金) 13:30~17:00
17	蓄電デバイス技術セミナー	H27-12-1(火) 13:30~15:00
18	光応用技術セミナー	H27-12-16(水) 13:30~16:30

19	Additive Manufacturing 技術動向セミナー	H28-3-16(木) 13:30～15:30
<b>長崎県立大学</b>		
20	シーボルトテクノ塾「AR for Android」セミナー	H28-2-27(土) 14:30～17:00
21	シーボルトテクノ塾「ActionScript 3.0」セミナー	H28-3-6(日) 14:30～17:00
22	シーボルトテクノ塾「スクラッチ講座 初級編」セミナー	H27-12-26(金) 16:00～17:30
23	第1回情報セキュリティ・セミナー	H27-8-22(土) 14:00～16:40
24	平成27年度サイバーセキュリティ研究会	H27-12-26(金) 16:00～17:30
<b>長崎大学</b>		
25	国際セミナー「カーネギーメロン大学金出先生によるロボットビジョン」	H27-11-12(木) 15:00～17:30
<b>長崎総合科学大学</b>		
26	第2回ながさき次世代ロボット研究会	H27-9-17(水) 14:00～17:00
27	第3回ながさき次世代ロボット研究会	H27-11-11(水) 16:00～18:30
28	第4回ながさき次世代ロボット研究会	H28-2-24(水) 16:00～18:30
29	第4回ながさきビッグデータ研究会	H27-5-18(月) 16:30～18:15
30	純水・超純水セミナー	H27-6-15(月) 14:00～16:00
31	ながさき次世代ロボット研究会設立シンポジウム	H27-6-16(金) 15:30～18:10
32	ロボットセミナー「宇宙・ロボット・夢」	H28-3-19(土) 14:30～17:00
<b>佐世保市</b>		
33	機械開発の効率化と品質維持セミナー	H28-2-18(木) 14:00～15:30
<b>長崎県</b>		
34	ロボット関連産業への参入促進セミナー	H27-10-19(月) 13:30～17:00
<b>長崎商工会議所</b>		
35	造船・機械・工業部会講演会	H27-6-12(金) 15:00～17:00

## VI 講演・セミナー事業(「講演セミナー事業」)

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有して、新製品・サービスの開発開拓に資することで、地域社会の発展につながることを目的とする。その情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

### (1) 事業内容

- 1) 開催回数 : 2～4回/年
- 2) 案内方法 : 県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人のHPに掲載
- 3) 対象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
- 4) 参加人数 : 40～80名

### (2) 実施内容(敬称略)

- 1) 通常総会時講演会 H27-6-25(木)、16:30～17:45、ホテルセントヒル長崎
  - i) 演題 : 「次世代 Web アプリケーション開発技術」
  - ii) 講師 : 長崎大学教授 大学院工学研究科 電気・情報科学部門 博士(工学) 小林 透
  - iii) 概要 : 昨今の様々なソーシャルメディア系サービスの普及により、それらを利用した応用アプリケーション開発が注目を集めている。長崎大学大学院の小林研究室で推進されているソーシャルメディアやオープンデータを活用したサービスオリエンテッドアーキテクチャ(SOA)型の Web アプリケーション開発技術を、スマート教育、災害対策、高齢者支援、観光振興、海洋開発向けアプリケーションの例についての講演である。
  - iv) 聴講者 : 69名(会員61名+非会員8名)
- 2) 新春講演会 H28-1-21(木)、16:00～17:30、ホテルセントヒル長崎
  - i) 演題 : 「IoTの現況と今後の活用に向けた期待・効果」
  - ii) 講師 : 日本ユニシス(株) 総合マーケティング部 IoTサービス戦略企画室  
IoT技術グループ グループリーダー 松村 義昭
  - iii) 概要 : 今注目が高まる「IoT(Internet of Things)」は、ICT 機器や製造機器だけでなく、家電や車、医療器具、建造物、身の回りの品々など、インターネットにつながる「モノ」全てが対象となり、その数は加速度的に増えている。このIoTは、医療、エネルギーマネジメント、災害監視などさまざまな分野でも活用され、人々の生活をより豊かにするために欠かせないものとなっている。  
なぜ今IoTが注目されているか、その背景や動向について事例を交え紹介があった。
  - iv) 聴講者 : 94名(会員63名+非会員31名)

**3) セミナー** H27-7-23日(木)、13:30~15:30、ベストウェスタンプレミアホテル長崎

- i) 演題 : 「マイナンバー制度セミナー」
- ii) 講師 : 内閣府外局 特定個人情報保護委員会事務局  
総務課 監視・監督第1係長 高間 佑樹
- iii) 概要 : 「マイナンバー」個人編向け編および事業者向け編のDVD映像による紹介があり、  
続いて、「マイナンバーガイドライン入門~特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン  
(事業者編)の概要~」について、各社の規程策定や具体的取扱いについて説明を頂いた。  
本セミナーにより、マイナンバーの注意点や準備する一端について知ることができた。
- iv) 聴講者 : 120名(会員52名、会員外68名)

**4) IT 融合化講演会** H27-11-5(木)、13:30~17:40、ベストウェスタンプレミアホテル長崎

- i) 基調講演 : IoT時代に要求されるサイバーセキュリティと人材育成  
独立行政法人情報処理推進機構 情報セキュリティ分析ラボラトリー長 小松 文子
- ii) 講演
  - ① IoT時代におけるセキュリティ脅威について  
講師: 長崎大学大学院 工学研究科 情報工学コース 教授 小林 透
  - ② 制御システムセキュリティ対策になる”Industry4.1J”ソリューション  
講師: VEC事務局長/株式会社ICS研究所 代表取締役 村上 正志
  - ③ 中小企業におけるサイバーセキュリティの取り組み(IoT時代のグローバルな脅威に備える)  
講師: (株)MHPSコントロールシステムズ・長崎事業部 ソフト技術部 部長 三條西 公朋
  - ④ THE 'INTERNET OF THREATS'  
講師: Kaspersky Lab 取締役会長兼最高経営責任者 ユージン・カスペルスキー 氏 ※) 逐次通訳付
  - ⑤ パネルディスカッション  
モデレータ・長崎総合科学大学 教授 副学長 田中 義人  
パネラー ・情報処理推進機構 情報セキュリティ分析ラボラトリー長 小松 文子  
・長崎大学大学院 工学研究科 情報工学コース教授 小林 透  
・VEC事務局長/株式会社ICS研究所 代表取締役 村上 正志  
・(株)MHPSコントロールシステムズ ソフト技術部 部長 三條西 公朋  
・長崎県総務部情報政策課 課長 大庭 茂雄
- iii) 主催: 長崎県 IT 融合化推進協議会 (ES-Nagasaki)
- iv) 共催: 長崎県、長崎市
- v) 後援: 長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、一般社団法人長崎県情報産業協会 (NISA)、  
(株)カスペルスキー、(株)MHPS コントロールシステムズ
- vi) 聴講者 : 88名(会員41名、会員外47名)

**VII 理事会(役員会)** 主な項目のみ下記に記す (敬称略)

**(1) 第1回 理事会(役員会)** H27-4-23(木) 15:00~16:50、十八ソフトウェア(株)、議事録担当 須藤理事  
役員以外の出席者: 長崎県企業振興・技術支援課 下窄課長補佐

- 1) 野上理事退任と後任者の方向付け。補欠理事候補の公募を実施する。
- 2) H26 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し発表企業、および招待者について: 承認。
- 3) H26 年度仮決算と仮法人税・仮消費税: 承認
- 4) NISA 委員会の状況報告と来年度の各委員会方針と運営の策定と決定: 承認
- 5) Web 会議システムの導入について: 承認
- 6) マイナンバー講習会開催について: 承認
- 7) NISA NEWS 第15号の発行: 承認

**(2) 第2回 理事会(役員会)** H27-5-21(木) 15:00~17:15、十八ソフトウェア(株)、議事録担当 松本理事  
役員以外の出席者: 長崎県企業振興・技術支援課 下窄課長補佐

- 1) 長崎総合科学大学からの説明  
「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に関する協働参画について  
学生課キャリアセンター室長 野上 敏治
- 2) H27 年度役員(理事)の補欠補者: 確認
- 3) H27 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し・招待者等: 承認
- 4) H26 年度決算概要(監査5/14完了)、酒井監事から報告: 承認



- 5) NISA HP 企業情報の改善について:承認
- 6) マイナンバー制度セミナー開催について(日程変更):承認
- 7) 平成 27 年度 ANIA 通常総会 出席者:承認

**(3) 第3回 理事会(役員会)** H27-6-25(木) 13:00~13:35、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 梁瀬理事  
役員以外の出席者:なし

- 1) 平成 27 年通常総会等内容・行事体制再確認:確認
- 2) 平成 27 年度 JIISA 地域活性化の「地域連携」「高度化」および「高度IT技術者育成」の各事業の申請:承認
- 3) 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に関する協働参画:承認
- 4) マイナンバー制度セミナー開催(申込状況):報告
- 5) 第 37 回全情連大会 ANIAいしかわ大会(9/10, 11 開催)の参加者募集:承認

**(4) 第4回 理事会(役員会)** H27-8-20(木) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 濱口理事  
役員以外の出席者:県企業振興・技術支援課 係長 山田 薫

- 1) 九州 NS ソリューションズ(株)から「DB セキュリティ最新 ~DataBaseFireweall」の紹介  
第一事業本部 ソリューション事業部 部長 笹井 健
- 2) (株)アドミンから「アドミン : デジタルコンテスト開催の紹介と今後について」説明  
代表取締役 山口 知宏
- 3) 平成 27 年度 JISA 地域活性化事業の実施申請:承認
- 4) 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム設置とワーキンググループ参加のメンバー:決定
- 5) ながさき ICT 戦略研究会の設立と参画について:確認
- 6) 第 2 回 i コンピテン・ティショナリ(iCD)ワークショップ参加企業の募集(締切 8/21)のご案内募集:確認
- 7) IT 融合化講演会の開催:承認
- 8) 長崎県工業技術センターとの交流会の開催:承認
- 9) ANIA の「IT 連絡会」構想:承認
- 10) 第 37 回全情連大会 ANIAいしかわ大会(9/10, 11 開催)の参加者:承認
- 11) 協会事務局員の採用:承認
- 12) ANIA いしかわ大会連合会表彰の推薦(岩永前事務局長):承認
- 13) NISA 研修の講座代替案:承認

**(5) 第5回 理事会(役員会)** H27-9-25(木) 15:00~17:30、十八ソフトウェア(株)、議事録担当 荒木理事  
役員以外の出席者:県企業振興・技術支援課 係長 山田 薫

- 1) 県から事業「産業人材育成産学官コンソーシアム グローバル人材育成」の紹介  
県雇用労働政策課 企画監 土井 浩毅  
県雇用労働政策課 地域雇用・人材育成班 係長 坂本 照美  
長崎大学 国際教育リエゾン機構 泉川 正純
- 2) 平成 27 年度 JIISA 地域活性化事業:承認
- 3) 平成 28 年新春講演会(1/21)テーマおよび講師:検討
- 4) 新入社員向け技術者研修の開催:承認
- 5) 2015 年ソフトウェアの労働実態調査(情報労連):決定
- 6) IT 融合化講演会の開催:確認
- 7) 個人情報保護方針の制定:検討
- 8) 特定個人情報取扱規程(案)【中小規模事業者用】:検討
- 9) その他  
・峰松理事から「休眠状態である『日本アンドロイドの会長崎支部』の立上げ直し」提案:承認

**(6) 第6回 理事会(役員会)** H27-10-22(木) 15:00~17:20、Nisa 研修室、議事録担当 小原理事  
役員以外の出席者:長崎県企業振興・技術支援課 係長 山田 薫

- 1) 平成 28 年新春講演会(1/21)テーマおよび講師の検討:テーマ決定
- 2) 平成 28 年新春「わが社の一押し」発表企業:検討
- 3) 『キャリア形成促進助成金を活用した「2016 年度新入社員向け技術者研修」の説明会:確認
- 4) 【JISA・NISA 無料研修】H27 年度 JISA 補助金による研修の受講者募集[先着順]:確認
- 5) キャリア形成促進助成金 若者雇用促進法に基づく認定事業主の助成率を引上げ:確認
- 6) 個人情報保護方針の制定:承認
- 7) 特定個人情報取扱規程(案)【中小規模事業者用】:検討
- 8) SCSK ニアショアシステムズ(株)の長崎進出の検討内容通知:承認
- 9) IT 融合化講演会の開催(申込状況):確認
- 10) 経産省・総務省設立「IoT 推進コンソーシアム/IoT 推進ラボ」への参加:承認

11)NISAニュース16号の発行:承認

**(7)第7回 理事会(役員会)** H27-11-19(木) 15:00~17:10、Nisa 研修室、議事録担当 峰松理事

役員以外の出席者:長崎県企業振興・技術支援課 係長 山田 薫

- 1)平成 28 年新春講演会(1/21)テーマおよび講師:決定
- 2)平成 28 年新春「わが社の一押し」発表企業(日本ビジネスソフト・ランカードコム 2 社):承認
- 3)平成 28 年新春講演会・わが社の一押し・交流会体制:承認
- 4)平成 28 年新春産学官交流会のご招待者:承認
- 5)シンガポール企業視察(交流委員会):承認
- 6)H28 年度研修講座のアンケート調査(研修委員会):承認
- 7)特定個人情報取扱規程(案)【中小規模事業者用】:承認
- 8)長崎県工業技術センターとの意見交換会:承認
- 9)ヤマトフィナンシャル(株)通販業務の協業の会員への紹介:承認

**(8)第8回 理事会(役員会)** H27-12-18(木) 15:00~16:00、出島交流会館、議事録担当 若杉理事

役員以外の出席者:なし

- 1)平成 28 年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会、招待者」:確認
- 2)(株)長崎総合情報センターの入会承認:確認
- 3)ANIA 新春交歓会(2/4 開催)への出席者の確認:確認
- 4)H27 年度 NISA 活動トピックス:検討
- 5)その他  
・ANIA全国大会開催の要請を受けた件(3 役に一任):承認

**(9)第9回 理事会(役員会)** H28-1-21(木) 13:30~14:20、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 中野理事

役員以外の出席者:なし

- 1)ANIA全国大会開催(H29 年度、第 39 回):承認
- 2)平成 28 年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会」:確認
- 3)平成 28 年度研修計画(研修委員会):承認
- 4)H27 年度 NISA 活動トピックス:検討
- 5)その他  
・前事務局長 岩永様退職に係る件(退職金・顧問):承認

**(10)第 10 回 理事会(役員会)** H28-2-18(木) 15:00~16:45、Nisa 研修室、議事録担当 内田理事

役員以外の出席者:長崎県企業振興・技術支援課 係長 山田 薫

- 1)ANIA全国大会開催(H29 年度、第 39 回)準備委員会体制:承認
- 2)H28 年度理事会・役員会の開催日程について:承認
- 3)NISA 委員会の H27 年度状況報告と来年度の各委員方針と運営の提出(3 月 18 日):承認
- 4)決算 予想と対策(収益事業):承認
- 5)平成 28 年度研修計画(研修委員会)について:承認
- 6)H26 年度 NISA 活動トピックス:確認

**(11)第 11 回 役員会** H28-3-24(木) 15:30~17:00、Nisa 研修室、議事録担当 裕本理事

役員以外の出席者:なし

- 1)ANIA全国大会開催(H29 年度、第 39 回)(委員会リスト作成・会員周知等):承認
- 2)H28 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等の検討(4 月理事会で決定):承認
- 3)NISA 委員会の H27 年度状況報告と来年度の各委員方針と運営:承認
- 4)決算 予想と対策(3/24 現在):承認
- 5)H27 年度 NISA 活動トピックス:決定